

## News Release

2025年2月21日  
三菱倉庫株式会社  
三菱商事株式会社  
ユアスタンド株式会社

### 三菱倉庫・三菱商事・ユアスタンド 完全 CO<sub>2</sub> フリーの医薬品輸送の電動化を推進

三菱倉庫株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 社長:齊藤 秀親、以下、三菱倉庫)、三菱商事株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長:中西 勝也、以下、三菱商事)、ユアスタンド株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:浦 伸行、以下、ユアスタンド)の3社は、三菱倉庫グループ会社のDPネットワーク株式会社が実施する医薬品輸配送業務の CO<sub>2</sub> 排出量削減に向け、2025年3月より中型 EVトラックを導入し、完全 CO<sub>2</sub> フリーを目指した電動化を進めます。

本件は、三菱倉庫の埼玉・三郷地区の拠点に EV 充電設備を設置するとともに、三菱ふそうトラック・バス株式会社製「eCanter」を1台導入し、3月から納品先への輸配送業務を開始します。本車両の航続距離や温度管理の状況に係る各種データを収集し、今後の導入拡大に向け検討を行っていきます。

三菱商事は、充電設備の導入に関して、ユアスタンドと共に充電器設置場所提案、充電器選定、充電設備設置工事を請負、充電オペレーション提案までワンストップでの充電サービスを三菱倉庫に提供しました。

充電管理にはユアスタンド開発の Yourstand for Business(以下、YS4B)を採用し、充電時間・充電状態監視・CO<sub>2</sub> 削減量等を一括管理、顧客にとって利便性の高いオペレーションを実現します。また、YS4B の充電スケジュール管理機能を使用することで、電力価格が安い時間帯に充電時間をシフトし安価な電気代での充電を実現します。

EVトラックは三菱オートリース株式会社がリース提供し、また走行に必要な電力については、MCリテールエナジー株式会社が EV 充電専用の再生可能エネルギー由来電力プランを提供します。これにより、充電から走行まで全てのCO<sub>2</sub> 排出量は実質ゼロとなり、荷主である医薬品メーカーの物流由来の温室効果ガス(以下、GHG)Scope3 削減に寄与することが可能です。



EVトラックの写真



充電設備の写真



YS4B の PC ダッシュボードとスマホ画面

三菱倉庫グループは、今回の EV トラック導入のほか、国際的なルート検索・GHG 算出システム「Emission Monitoring Cargo Route Finder」の提供や CO<sub>2</sub> 排出量削減ソリューションの提案を行う、CO<sub>2</sub> 可視化・削減サービス「MLC Green Action」を通じて、サプライチェーン全体での GHG 削減に取り組んでいます。

緑豊かな社会を、物流から



三菱商事は、脱炭素化が求められる物流・タクシーなどの商用モビリティ分野をターゲットに、三菱商事の総合力を駆使し、エネルギーマネジメント、フリートマネジメント(オートリース)、バッテリーマネジメント、再生可能エネルギーを組み合わせ、モビリティ×エネルギー領域でのセクター横断的なソリューション開発を通じ、商用モビリティの電動化・脱炭素化の実現を推進して参ります。

ユアスタンドは、2018 年の創業以来、“移動をもっとクリーンに”をミッションとして、「基礎充電」を中心としたEV充電インフラ事業を手掛けております。2023 年からは法人向け EV 充電ソリューションを展開しており、ソフトウェアによる多機能な充電管理から、顧客ニーズに基づいた充電設計および施工までをワンストップで提供しております。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

三菱倉庫株式会社 広報室 TEL:03-3278-6652

三菱商事株式会社 広報部報道チーム TEL:03-3210-2171

ユアスタンド株式会社 広報担当 TEL:050-3204-4395